

一般社団法人 名古屋林業土木協会会員の C N、G X、生物多様性、D X などの取組事例

実施主体	大山土木 株式会社			
区 分	<p style="text-align: center;">C N</p> <p style="text-align: center;">(カーボンニュートラル)</p> <p>温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする政府目標。</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p style="text-align: center;">G X</p> <p style="text-align: center;">(グリーントランスフォーメーション)</p> <p>化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換すること。脱炭素化社会を構築しようとする取り組み</p> <p style="text-align: center;">○</p>	<p style="text-align: center;">N P</p> <p style="text-align: center;">(ネイチャーポジティブ、生物多様性)</p> <p>生物多様性の損失を食い止め、反転・回復軌道に乗せること。COP15(2022年)において2030年までに実現することとして設定された国際目標</p>	<p style="text-align: center;">D X</p> <p style="text-align: center;">(デジタルトランスフォーメーション)</p> <p>データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革し、業務や、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立させること。</p>
取組名称	化石燃料の使用削減と使用電力削減の取り組み			
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコン設定温度(夏28°C 冬20°C) ・ 不使用照明設備のオフ(LED化) ・ 新機械への更新 (HV機導入) ・ 社用車のアイドリングストップ設定 ・ 近郊からの資機材・燃料等調達 ・ 場所は限定的ではあるが、GTL燃料 (天然ガス由来で環境負荷の少ないクリーンな軽油代替燃料) を使用した 			
経 費	不確定			
効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消費電力の削減 ・ 化石燃料の削減 (燃費向上) ・ Co2等の削減 <p style="text-align: center;">※ SDGs 7/8/13に該当</p>			
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ GTL燃料の価格高騰 ・ 今後は再生エネルギーへの転換も考慮する必要がある 			
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な経費は算出していないが、殆どの項目で経費は増大傾向である。 			